[謡本] あふひの上　1冊　WA7-　001-001

国立国会図書館

指是ハ朱雀院ノ法ニ入ル事
臣下なれば桜も左大臣の法名女
蔵上乃法相孫々以外ニ法座ハ
祖ニ此僧高僧を請し中ニ於
大法秘法醫療をまく乃法ヲ
よろしく此更ニ異ニ志るし有し
家ニて家口孫法子此中ニ隨ま

17.10.-6 国会図

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-002
国立国会図書館

かなあ川さ孔上手のはを召て
生花花灵乃冒をあ清さ永かけ
さを中をとの清すすて以程に
此由を中付りやと存はべりに
誰りあ清でる口乃清子を召て
宗里りん　兵清浄地清浄ぬ
清浄六根清浄ぐわ人ハ所さう

よわらぬなりたる乃あし者乃
駒万ぐ手綱申里かけ　兄清の
車に乃わ落乃さ火鬼乃つをや
出ぬら其　夕都乃宿孔やま車
屋ぬ家こなるこうが有しけき
浮世ハ木の小車乃ぐ回るや
執ひなるら其　をよう於廻を

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-003
国立国会図書館

車乃輪のことゝ此四重を出
屋ゝ江人冒れ不定苞蕉泡沫乃
世のなしひ能口乃兼ちゝ口れ
ゆめ此等りぬこ音をろのなる移
ず れうよ小人乃恨の程ひて
云まも屋ゝぬ我思ひぞめてや
志りし慰世と梓乃弓に慈定れ

そと聞出こゝ小 慈恥りしや
ゝとても志乃ひ車れ取れうこ
月をそなりめあかれともぐく
はなふは見しうけ移ふ落
梓乃弓れうりれ小こちよ重
うよを待ちぐく あ川さ落
越三乃をとちいはくそぐく

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-004
国立国会図書館

〽あはれまゐるもやのはつたり
花たましとも〽姿ありけきハとふ
人もあらじ〽ひきやまれとも
見しらぬ上臈乃やぶれ車に召され
たるに青女房とおぼしき人乃
牛もなき車乃ながえにとりつき
さめざめと泣給ふいたはしさよ

〽いか様乃人にてもやらん名のり給へ
〽大方ハ推量申てば候へどもまれ
名をば名のらせ給へ〽それ娑婆
電光の境には恨むべき人もなく
悲しむべき身もあらざるに
いつさて浮かれ初めつらん
唯今梓乃弓の音にひかれて

現出たるなきかけの風来とう
思召ばこれそ紫はにも色深
怨霊やば我世にありしいにしへは
雲上乃花のえん春乃あした乃
御遊になれ仙洞の紅葉乃秋の
夜は月にたはふれ色香にそみ
はなやかなりし身なれとも

おとろへぬれば槿乃日かげまつ
間のありさまなりたゞいつと
なき我心ものうき野辺乃早蕨乃
もえ出そめし思ひ乃露かゝる
恨をはらさんとて是まで
出たるなり　おもひしれや
世中の情は人の為ならね

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-007
国立国会図書館

A 1 2 3 4 5 6 M 8 9 10 11 12 13 14 15 B 17 18 19

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-008
国立国会図書館

[譜本] あふひの上 1冊 WA7- 001-009
国立国会図書館

法座より　あまたなる大衆有り
法聖は　さらさら祈るにおよし
申さうしけるまでは　畏ては
行者は加持に参らんと役の
行者の跡を継ぎ胎金両部の
峰を分け七宝の露を払ひし
篠懸に不浄をへだて忍辱の

袈裟赤木の数珠のいらたかを
さらりさらりと押しもむでひと
いのりこそいのつたれ曩謨三
曼陀縛日羅赧　いかに行者はや
かへりたまへかへらでふかく
し給ふなよ　たとひいかなる
悪霊なりとも行者の法力尽く

へ義かと望て数珠を押も世て
東方より河三世明王（シテ上）南方軍
荼利夜叉（ワキ上）西方大威徳明王
（シテ上）小方金剛（上地）夜叉明王（シテ上）中央大
聖不動明王（ト）最後三曼陀羅曰羅
教於陀摩呵嚕遮那娑婆多耶味
多羅吒干給於（ハル）衆説光明大智恵

（シテ下）無衆心光明牙成佛（シテ下）あらく
（ハル）（ト）（下）（下月）
於ケ詠し於般若聲や　見とう
（下内キリ）
慈悲此後まこともきこゆまし
讀誦乃聲を仰ぐ時ならば悪鬼
ちらし詠をやりしく世辱無少於
（ハル）
安まらず無薩も家に来迎ば成佛
（ハル）（下）（下）（下）
明脱於牙と来りかゝ難きく

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-011
国立国会図書館

国立国会図書館

[謡本] あふひの上 1冊 WA7- 001-012

国立国会図書館

[謡本] あふひの上　1冊　WA7-　001-013

国立国会図書館